

<報道発表資料>

平成27年 3月13日

平成25年住宅・土地統計調査結果(確報)の埼玉県分まとまる

— 空き家率が全国平均(13.5%)を超えた市町は7市3町 —

住宅・土地統計調査は、住宅や土地の保有状況及び世帯の居住状況等の実態を明らかにすることを目的に行われている調査で、昭和23年から5年ごとに実施されています。

なお、調査結果は、都道府県、人口1万5千人以上の市町村について集計されており、県内40市14町分が公表されています。

埼玉県分の概要は次のとおりです。

【主な特徴】

1 総住宅数326万6千戸のうち、3.4%が理由のない空き家

- ・ 「総住宅数」は、326万6千戸で全国第5位。
- ・ 「空き家数」は、35万5千戸で「空き家率」は10.9%（全国44位）。5年前と比較して0.2ポイント上昇した。
- ・ 空き家のうち、賃貸用住宅、売却用住宅、別荘などを除いた「理由のない空き家」は、総住宅数の3.4%で全国45位。

2 空き家率が全国平均(13.5%)を超えた市町は、7市3町

- ・ 集計地域である40市14町のうち、「空き家数」が最も多い市町は、さいたま市(5万6,280戸)で、以下、川口市(3万1,170戸)、川越市(1万7,500戸)であった。
- ・ 「空き家率」が最も高い市町は、毛呂山町(19.8%)で、以下、秩父市(17.4%)、寄居町(17.1%)であった。

3 新耐震基準で建てられた住宅が全体の約7割

- ・ 「居住世帯のある住宅」289万5千戸のうち、昭和56年以降に建築された住宅（新耐震基準で建てられた住宅）は、201万9千戸で全体の69.7%。
- ・ 市町別にみると、新耐震基準の住宅の割合が最も高いのは、滑川町(81.2%)で、以下、白岡市(80.8%)、鶴ヶ島市(80.4%)であった。

4 太陽光発電のある住宅数は84,700戸で全国第2位

- ・ 5年前と比較すると60,100戸増加し、5年前の3.4倍となった。
- ・ 設置割合は、持ち家で4.1%、借家では0.6%となっている。
- ・ 市町別にみると、設置割合が最も高いのは滑川町(7.5%)で、以下、秩父市(7.4%)、上里町(6.8%)であった。

5 家計を主に支える者の通勤時間(片道)は短縮傾向

- ・ 家計を主に支える者の通勤時間(片道)の中位数は、43.7分で全国4位。
- ・ 通勤時間(片道)の中位数は、15年前と比較し、12分以上短縮した。
- ・ 市町別にみると、通勤時間(片道)が最も長いのは、志木市(53.7分)で、以下、新座市(52.9分)、富士見市(52.7分)であった。

※ 詳しくは、埼玉県総務部統計課のページ「彩の国統計情報館」をご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/a008/>